【学校法人村川学園　新型コロナウィルス感染症対策ガイドライン】

学校法人村川学園では、令和 2 年 3 月 24 日付文部科学省からの通知を受け、所轄の保健所など専門家の意見を取り入れながら、新型コロナウィルス感染症予防の観点から、以下の通りに学校運営における感染症対策ガイドラインを定めます。

1. 学校の対策

(ア) 人の密集を避ける工夫

入学式などの式典や催事の中止、健康診断の延期、入学時オリエンテーションを分散して実施するなどの工夫をします。

(イ) 登校時における手指の消毒の徹底

手洗いをはじめ、アルコールによる手指の消毒を徹底します。

(ウ) 教室での運営方法の工夫

常時換気（窓・ドアの開放、換気扇の常時運転）、定期消毒（机、イス、ドアノブなど）を徹底いたします。

(エ) 教職員のマスク着用、手洗いの徹底、健康管理

授業中、話をする際の教職員のマスク着用の義務付けをいたします。

併せて、毎朝の検温結果等健康管理を徹底いたします。

(オ) 定期的な消毒

トイレ、ドアノブなど不特定多数の人が触る箇所の定期消毒を徹底いたします。

2. 在学生への対応

(ア) マスク着用、手洗いの徹底、授業中の私語の禁止

学内在校中、在校生に於いて、マスク着用の義務付けをいたします。

※登校日までにご準備をお願いいたします。（手作りマスクも推奨しています。）

※手作りマスク作成方法（文部科学省 HP より）

https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/mext_00460.html

(イ)毎朝の検温（自己申告制）と記録簿への記載

毎朝検温をしてください。37.5℃以上の発熱や咳、強いだるさ、息苦しさの症状のある学生は学校へ連絡の上、症状がなくなるまで自宅休養をしてください。学校が認める欠席扱いとします。

(ウ)海外渡航歴のある学生への対応

2 週間以内に対象地域（感染症危険レベル 2 以上の国・地域）に渡航歴のある学生は、日本に入国後 2 週間は経過観察のため、自宅待機期間とします。

その場合、学生間で修学の差が生じることがないよう配慮することとし、授業等は、学校が認める欠席とします。

3．生徒または教職員に感染が判明した場合の対応

学校保健安全法に基づき、出席停止の措置となります。

また、濃厚接触者の場合においては、感染者と最後に濃厚接触をした日から起算して、2 週間とします。

また、一定期間の休校措置については、所轄の衛生主管部局と十分相談の上、判断します。

4．最後に

感染リスクは在校生に限らず、教職員やその家族にもあります。大事なことは、一人ひとりが感染のリスクや感染源になる可能性があることを自覚する事、

このガイドラインに沿った行動や措置を行う事で、感染拡大のリスクを抑える事ができます。

問い合わせ先：学校法人村川学園　西日本事務局

E-mail:info@daicho.ac.jp

TEL：0725－45－6000(学校代表)

若者世代は、新型コロナウイルス感染による重症化リスクは低いですが、このウイルスの特徴のせいで、こうした症状の軽い人が、重症化するリスクの高い人に感染を広めてしまう可能性があります。皆さんが、人が集まる風通しが悪い場所を避けるだけで、多くの人々の重症化を食い止め、命を救えます。

（新型コロナウイルス感染症対策専門家会議の見解より）

感染症対策へのご協力をおねがいします

手洗い

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、
「手洗い」や**「マスクの着用を含む咳エチケット」**です。

ドアノブや電車のつり革など様々なものに触れることにより、自分の手にもウイルスが付着している可能性があります。
外出先からの帰宅時や**調理の前後**、**食事前**などこまめに手を洗います。

正しい手の洗い方

手洗いの前に
・爪は短く切っておきましょう
・時計や指輪は外しておきましょう

流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。

手の甲をのばすようにこすります。

指先・爪の間を念入りにこすります。

指の間を洗います。

親指と手のひらをねじり洗いします。

手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、
清潔なタオルやペーパータオルで
よく拭き取って乾かします。

首相官邸 Prime Minister's Office of Japan
厚生労働省
厚労省 検索